

【評価実施概要】

事業所番号	170500821		
法人名	医療法人 愛全会		
事業所名	グループホーム さんるーむ		
所在地	〒005-0813 札幌市南区川沿13条3丁目3-10 (電話)(011)578-1131		
評価機関名	特定非営利活動法人 福祉サービス評価機構Kネット		
所在地	〒060-0061 札幌市中央区南1条西5丁目7 愛生館ビル601B		
訪問調査日	平成21年10月23日	評価確定日	平成21年11月13日

【情報提供票より】(平成21年10月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 12 年 4 月 1 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	8 人	常勤 7人, 非常勤 1人, 常勤換算	0.8人

(2) 建物概要

建物構造	木造		
	2 階建ての	1 階部分	

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	53,000 円	その他の経費(月額)	16,000 円	
敷 金	有 (53,000 円)			
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,433 円		月額 43,000 円	

(4) 利用者の概要 (10 月 1 日現在)

利用者人数	9 名	男性	2 名	女性	7 名
要介護 1	1名	要介護 2	2名		
要介護 3	5名	要介護 4	0名		
要介護 5	1名	要支援 2	0名		
年齢	平均 88.3 歳	最低	82 歳	最高	97 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人愛全会 愛全病院
---------	--------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは緑豊かな閑静な住宅街にあり、交通の利便性にも恵まれている。木造2階建ての瀟洒な家屋の1階をグループホーム、2階をデイサービスとして利用している。室内は明るく広く清潔で安全に配慮された造りになっており、テラスには椅子が置かれ庭の花々や四季折々の景色を楽しむことができる。近隣には事業所法人の病院、特養、老健、グループホームがあり、医療・介護・防災等で連携・協力関係が確保されており安心である。併設のデイサービスは適時利用することができる。職員は常に優しく利用者に接しており、利用者の表情は明るく穏やかである。家族の信頼は厚く、地域の人々からも親しまれ質の高いケアを行なっているホームである。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	<p>前回評価の課題は改善されている。家族の意見については家族アンケートの実施、意見箱の設置が行なわれホーム運営に反映されている。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>地域密着型サービスの意義を全職員が理解しており、全職員で自己評価に取り組み、現状分析を行い、検討し作成している。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>運営推進会議は地域包括センター職員、民生委員、家族代表、利用者、ホーム職員、事業所関係者が出席して定期的開催し記録している。ホーム運営内容や行事予定、評価、事故報告、防災関係等について話し合い討議している。会議で討議された内容はホームサービスの向上や事業所運営に活かされている。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>無記名による家族アンケートを実施し、ホーム内には意見箱を設置して家族の率直な意見を聴取している。家族に運営推進会議やホーム行事への参加を呼びかけ、来訪時にはできるだけ話し合う雰囲気を作り、家族の意見はホーム運営に反映するように配慮している。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>「さんるーむ通信」を町内の回覧版に添付し地域の人々の理解を得ている。新年会、しめ縄作り等の町内会行事に参加交流し、地域の保育園児との交流も深めている。ホーム庭には気軽に訪問する地域の人々の姿も見られる。デイサービスを併設しており、ホームは地域福祉の拠点として期待されている。</p>

2. 評価結果(詳細)

NPO法人 福祉サービス評価機構 Kネット

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型サービスの意義を確認し、住み慣れた地域で、個々の生活歴を踏まえ、安心して暮らせる場を提供するよう独自の理念を策定している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念はリビングルームに掲示しており、カンファランスや日々の申し送り時に確認し共有をはかり、具体的ケアに活かされるように取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	「さんるーむ通信」を地域に回覧している。地域の保育園児や地域の人々がホーム訪問することもある。新年会、しめ縄作り、キャンドル作り等町内会行事に積極的に参加しており、併設のデイサービスでは地元の人々と囲碁等を楽しみ交流を深めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価の意義を全員が理解しており、全職員が自己評価に参加している。評価をとおして日頃のサービスを見直す機会となり、外部評価結果についてはミーティング等で検討し具体的な改善に取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は地域包括センター職員、地域代表、家族、利用者、職員が出席して定期的に開催し記録している。ホーム運営、行事、外部評価、事故事例、防災等について話し合わせ、時には同法人グループホームと合同開催することもある。討議された内容は事業所運営やサービスの向上に活かされている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市関係者、関連団体との連絡を密にし、ホームの実情や取り組みについて報告している。管理者は札幌市や区の連絡会議等に参加し、情報交換し、情報を職員と共有しサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>「さんるーむ通信」を毎月定期的に発行しホーム行事や利用者の暮らしぶりを写真入りで伝えている。家族来訪時や電話では一人ひとりの健康状態等を直接報告している。金銭管理については領収書やレシートを添付して送り確認をとっている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ホーム行事や運営推進会議への家族参加を呼びかけ、できるだけ家族の話を聞くようにしている。意見箱の設置、無記名による家族アンケート調査を行い、率直な意見や要望を聴取して、ホーム運営に反映するように取り組んでいる。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>異動や離職は最小限に抑えているが、利用者や家族の信頼が途切れることがないように日頃から細心の注意を払っている。異動は毎月発行の「さんるーむ通信」でも職員紹介して報告している。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>運営母体主催の内部研修や、外部研修に参加できるように勤務調整をしている。又内容によっては同じ研修を2回計画することで職員全員の研修機会を確保するようにしている。研修内容の資料は回覧しカンファランスで報告して共有をはかっている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>運営母体の医療法人は多数のグループホームを運営しており、人事交流、研修会、合同運営推進会議、相互訪問等が日常的に行われている。市や区のグループホーム連絡会議への参加、交流も行われ他事業所との交流活動をととしてサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>事前に本人、家族と十分話し合いホーム見学をして雰囲気に馴染み、納得してからサービスを開始するようにしている。入居後は環境の変化に注意し同居者とのコミュニケーションをサポートすることをケアプランに組み込んでいる。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>日々の暮らしの中で喜びや悲しみ等の思いを互いに共有している。利用者の昔培った貴重な技能の活用や、知識等、得意分野で自信をもち、力を発揮してもらうように場面作りに配慮している。人生の先輩として尊敬の念を持ち共に支え合う関係を築いている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p> <p>1. 一人ひとりの把握</p>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>日々の生活の中で会話、動作、表情、家族情報等から一人ひとりの意向や思いを把握し、身体状況等を考慮したうえで、できるだけ希望に沿える暮らしができるよう支援している。</p>		
<p>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>利用者、家族の希望や意見を聴き、管理者、介護支援専門員、医師、看護師等全職員が意見交換や話し合いを重ねたうえ、日々の生活記録や家族アンケート等も参考にして利用者本位の介護計画を作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画は3カ月毎定期的に見直しを行なっている。現時点のサービス状況にずれがないか常に検討しており、変化が生じた場合は本人、家族、医師、看護師、関係者と話し合いをもち身体状況や意向を汲み取り、随時現状に即した計画を作成している。</p>		
<p>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</p>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>本人、家族の状況や要望に応じてかかりつけ医への受診送迎や外出支援を行なっている。併設のデイサービスは、リハビリ、囲碁将棋の参加等適時利用することができる。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>月2回の内科医の往診診療、週1回の看護師による健康管理、訪問歯科診療がなされており、緊急医療は24時間体制で整備されている。利用者希望のかかりつけ医については送迎などの受診支援を行ない、常に適切な医療が受けられるよう支援している。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>重要事項説明書に「重度化した場合における対応に係る指針」が補足明記されており契約時に本人や家族と確認し方針を共有化している。状況に変化があった場合は医師、看護師、家族と話し合い事業所として対応できる最大の支援方法を行なっている。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>職員は利用者の誇りやプライバシーを損なわないように人生の先輩として尊敬の念をもち言葉かけや動作に配慮して接している。職員の申し送りは場所を選び、個人記録が記載されている書類は保管棚に収納し個人情報を管理している。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>一人ひとりの意向を尊重して、自由な暮らしができるよう行なっている。起床、入床時間は決めず、体操やレクレーションも自由参加としている。買物や外出希望についても体調に配慮しながらできるだけ希望に沿った支援を実施している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の好みや栄養バランスに配慮された献立が栄養士により作成されており、利用者は食事の盛り付けや味見、下膳、食器拭き等を職員と共に行なっている。職員と同じテーブルを囲み、和やかな雰囲気の中で食事が楽しみとなるよう支援している。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者のタイミングや体調、希望に合わせて、午前、午後いつでも入浴できるようにしている。毎日入浴することもでき、一人ひとりの生活習慣や希望を大切にして支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者の生活歴や力に応じて調理、盛り付け、掃除、畑仕事、草とり、洋服作り、編み物、貼り絵等を行ない生活の励みとしている。雑祭り、花見、温泉旅行、クリスマスなど季節毎のホーム行事も楽しみとなっている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	一人ひとりの希望に沿って買い物や散歩に出かけられるよう支援している。庭に面しているテラスには椅子やテーブルが設えてあり、外気の中でゆっくりコーヒーを飲み季節の花木を眺めることができる。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中、玄関、居室に鍵はかけていない。職員は利用者の様子をさりげなく見守り、出かけていく気配を感じた時は同行する等して安全面に配慮しながら自由な暮らしを支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	防災マニュアルを作成している。消防署協力の 下年2回避難訓練を実施しており、避難経路 の確認、消火器の点検は定期的に行なっている。協力医療機関の災害時支援体制が整備し ており距離的にも近いことから応援が期待で きるが、町内会との連携も検討している。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	1日の栄養摂取量や水分摂取量は一人ひとり 記録し確認しており、不足の生じた時はでき るだけ摂取できるように個別に配慮してい る。管理栄養士が栄養バランスに配慮して献 立を作成しており、一人ひとりの身体状況や 嗜好に合わせて支援している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居間、食堂、玄関等は明るく広くゆったりとしており、座り心地の良い椅子やソファ、 が置かれている。リビングの壁には利用者の 季節感ある作品が飾っており、カーテンは防 炎加工で安全に配慮している。室温、湿度、 換気に注意し、掃除が行き届き清潔で居心地 のよい共有空間づくりがなされている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた家具やベットが持ち込まれ、家庭 とあまり変わらないように配慮されている。 家族写真が飾られ、思い出の物が置かれ、落 ち着いて居心地良く過ごせるよう工夫されて いる。トイレ、洗面台設置の居室も用意され ており、各室広い収納スペースがある。		

 は、重点項目。